

保証書

東京硝子器械株式会社

保証規定

本器は当社基準に基づき検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - 不適当な取扱い、使用による故障
 - 設計仕様条件等をこえた取扱い、または保管による故障
 - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
 - その他当社の責任とみなされない故障

型番	FdB-300	シリアル番号	
保証期間	年 月 日より1ヵ年		
お客様	お名前 様		
	ご住所		
	電話番号		
販売店	住所・店名		

販売店様へ お手紙でも必ずご記入の上お客先へお送りください。

TKG 東京硝子器械株式会社

0120-393913
http://www.tgk.co.jp

2009年10月初版

デジタル騒音計 FdB-300

取扱説明書

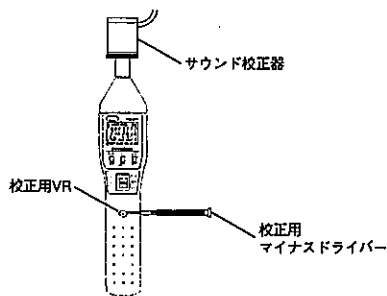
5.測定方法

- 電源スイッチ⑥を適切なHI又は、Loのレンジに切り替えます。表示部が点灯します。
- 次に測定対象に応じて、A特性またはC特性のどちらかを特性スイッチ⑤で切り替えてください。表示部右下に“A”または“C”が表示されます。
- 動特性の切り替えをSLOW/FAST動特性選択スイッチ③で行ってください。表示部左下に“FAST”または“SLOW”が表示されます。
- コンデンサーマイク①を音源に向けて測定値を読み取ります。この時、表示部左上に“UNDER”または“OVER”が表示された場合は適正レンジになっていないので、レンジの切り替えをしてください。Hiレンジ(75~135dB)に設定しており、“OVER”が表示部①に表示される場合は測定値上限以上ですので、これ以上の測定ができません。

6.最大値ホールド

最大値ホールド表示を行うには、MAXホールド/測定モード切替スイッチ④を“MAX”に切り替えてください。表示部右上部に“MAX”が表示され最大値ホールドモードに切り替わります。最大値ホールドモードでは常に測定中の最大値が表示されます。また、解除するには、MAXホールド/測定モード切替スイッチ④を“測定モード”に切り替えてください。

7.校正方法



本器は出荷前に厳重な品質管理により校正されていますが、本器を高精度で未永くご使用いただくために1年に1度校正することをおすすめします。また、本器の校正には94dB、1kHz出力のサウンド校正器(オプションアクセサリ)のご使用をおすすめします。

- 本器を下記のように設定して下さい。
 - 周波数特性⑤:A特性(dBA)
 - SLOW/FAST動特性選択スイッチ③:FAST
 - 電源スイッチ⑥:Hi(75~130dB)
 - MAXホールド/測定モード切替スイッチ④:測定モード
- 騒音計の感音部(マイクロホン)を校正器の接続部に差し込んで下さい。
- 騒音計の表示が94.0dBになる様に校正用VRを調節して下さい。

このたびは、当社のデジタル騒音計FdB-300をお求めいただきまして誠に有り難うございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

1.概要

本器は、音圧レベルをマニュアルレンジ操作にて35dBから130dBまで0.1dBの分解能で測定します。動特性はFASTとSLOWを選択でき、周波数特性はA特性とC特性を選択できます。また、最大値ホールド機能を装備しています。

2.仕様

測定	A特性 35~130dB C特性 35~130dB
周波数応答	31.5Hz~8000Hz 種 度 ±2dB(1kHzにて)
センサ	1/2インチ径コンデンサーマイク
表示	3.5桁LCD表示
動特性	FAST(125m sec.)またはSLOW(1sec.)
測定レンジ	Loレンジ:35~90dB(A特性/C特性) Hiレンジ:75~130dB(A特性/C特性)
オーバーレンジ表示	“OVER”マーク表示
アンダーレンジ表示	“UNDER”マーク表示
電池電圧低下表示	[B]マーク表示
MAX HOLD	最大値ホールド表示
A C 出力	1.0Vrms/フルスケール(各レンジにて) 出力インピーダンス:約600Ω
電池	単4(1.5V)×4個
電池寿命	約50時間(アルカリ電池にて)※
使用温度	-10℃~+50℃、90%RH以下(但し結露のないこと)
保存温度	-20~+60℃、0~80%RH(但し結露のないこと)
寸法・重量	W44×H217×D40mm、約168g(電池を含む)
付属品	取扱説明書、防風保護スクリーン、 三脚取付用アダプター×1、出力端子用コネクタ×1 キャリングケース、校正用マイナスインドライバー×1

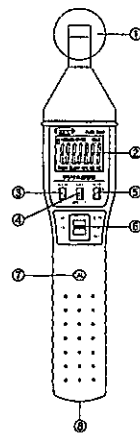
※ご購入の際に、本器に出荷確認用の電池が内蔵されている場合がございます。初めのご使用頂く際には、必ず新しい電池と交換してください。

3.騒音レベルについて

人間の耳は音の周波数によって感度が違うので、マイクロホンでとらえた音圧レベルの周波数ある程度カットする聴感補正回路を通して人間の聴感に合わせたものを騒音レベルと称し、表示しています。

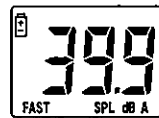
4.各部の名称と機能

- コンデンサーマイク①
:騒音を感知するセンサー部分です。
- 表示部②
:測定値及び、各機能の表示をします。
- SLOW/FAST動特性選択スイッチ③
:SLOWは変動している騒音レベルの測定に使用します。
FASTは通常の騒音レベルの測定に使用します。
- MAXホールド/測定モード切替スイッチ④
:スイッチを“MAX”に切り替えると測定した最大値を固定して表示します。最大値が更新されると新しい値が表示部に固定して表示されます。“測定モード”に切り替えると、通常測定モードに戻ります。
- 周波数特性スイッチ⑤
:A特性またはC特性の切り替えを行います。
- 電源スイッチ⑥
:Hi/Lo/OFFの切り替えが出来ます。Hiは75~135dBの測定が可能です。Loは35~90dBの測定が可能です。使用後はスイッチをOFFにして電源をお切りください。
- 校正用ボリューム⑦
:本体の校正を行うときに使用します。使用の際には“CAL”のキャップを外してください。
- AC出力端子⑧



8.電池電圧低下表示

表示部左上に[B]マークが表示されたり、表示が薄くなった、表示が出なくなった場合は電池電圧の低下が考えられますので、電池を交換して下さい。



電池交換は本体表面の電池カバー上のネジを外して、新しい電池(単4電池4個)に交換して電池カバーをもとに戻して下さい。